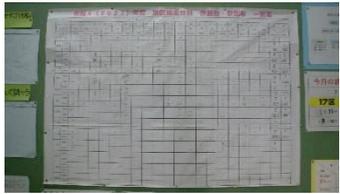


令和4年度（2022年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：水俣市立袋中学校 >

1 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 <p>写真①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの様子を踏まえて、項目の改新をおこない、生徒総会で提案した。可決されたものに、学級ごとの取組項目を加えた学級ISO（SDGs）宣言文を、ISOコーナーに掲示し、教育活動の中で宣言項目を意識しながら生活できるようにした。（写真①）
行動	 <p>写真②</p>  <p>写真③</p>  <p>写真④</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの削減と3Rの意識を高める目的で、各教室に紙回収ボックスを設置し、紙のリサイクル活動に取り組み、定期的に回収を行った。 ・月1回の地区の資源ゴミ回収日には、生徒と教師も地域の方とともに分別活動に取り組んだ。活動の充実のために、活動前に環境委員会で回収日の予告や呼びかけを行った。活動状況は、班長が記録し、環境委員会で集計した。（写真②） ・毎週水曜日には、ボランティア活動として学級花壇の草取りや花植えに取り組んだ。活動の充実のために、環境委員会より、前日に予告、実施日に参加状況の放送を行った。（写真③） ・毎月末に全生徒と職員に対して、自身の取組目標を1つ加えたISO（SDGs）宣言をどれくらい意識して達成できたのか、記録表を配付し自己評価を行った。 ・10月と1月に執行部・学級委員会・環境委員会を実行委員会として、袋湾の干潟の清掃活動を行った。（写真④）
記録	 <p>写真⑤</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミ回収活動への地区・班別の参加率を、ISOコーナーに掲示し、意識の向上を図った。（写真⑤） ・各学級のISO（SDGs）宣言項目の達成状況について、自己評価表の結果を入力、集計しISOコーナーに掲示し、意識の向上を図った。
見直し	 <p>写真⑥</p>  <p>写真⑦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の電気や水の利用について課題が見られたため、事務職員と協力して電気、水の使用量をISOコーナーに掲示するとともに放送でも周知を行った。（写真⑥） ・掃除に対する取組に課題が見られたため、学期に1回ずつ掃除コンクールを行うことで、活動の見直しを行った。スムーズな清掃活動が行えるように、長期休暇を利用して道具の点検・再配置を行った。 ・干潟の清掃活動がマンネリ化している状況が見えてきたため、給食時間にオンラインを利用して環境に関する放送をすることで、環境保全に主体的に取り組もうとする意識を高めようとした。（写真⑦）

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>○毎月のISOチェックの結果を生徒の動線に掲示したり掃除コンクールを実施したりすることで、SDGsへの意識が少しずつ高まっている。</p> <p>○寒暖が厳しい日や休日にゴミ・資源分別活動が重なっても、責任を持って参加して活動に励む生徒が増えてきた。</p> <p>○干潟の清掃活動では、環境委員会の働きかけもあり、1回目より2回目は意欲的にゴミ拾いをする生徒が増え、収集したゴミの分別や道具の片付けにも主体的に取り組むことができていた。</p> <p>○掃除の時間に以前よりもバケツを利用して水の削減に取り組む姿が見られるようになった。</p>	<p>●環境委員会から節電の呼びかけを行ったが感染症予防も重なり削減までには至らなかった。</p> <p>●毎週の花壇の手入れについて、学年が上がるにつれて参加者が減る傾向にあり、全体的にも参加率が伸びなかった。</p> <p>●毎月のゴミ・資源分別活動への参加率が下がり、地区によって差がでてきている。</p> <p>●干潟の清掃活動が中学生だけの活動になってしまっているので、地域の住民も巻き込んだ活動にしていきたい。</p> <p>●移動教室等で教室を空ける際にも、電気が付いたままであるなど意識が高まっていない。</p>